

新宿を「災害に強い、逃げないですむ安全なまち」へ

新宿区の基本施策

『東京都防災会議がまとめた首都直下地震（東京湾北部を震源とするマグニチュード7, 3）の被害想定によると、最大で9700人が死亡。そのうち4100人は火災による犠牲者で、23区内に集中しています。そこで区議会公明党は第二回定例会で、災害時に大規模な火災の恐れがある木密地域対策のために、不燃化をスピード感をもって推進するよう提案しました。これを受け新宿区は、「防災再開発促進地区」に指定されている5か所での取組みを発表しました。

不燃化を強力に推進

上落合中央・三丁目地区まちづくりの会の提言を受けて

上落合地区

木密地域アクションプロジェクトの実施

西新宿地区

不燃化特区の申請を準備

赤城周辺地区

若葉・須賀町地区

「不燃化特区」の具体的支援策は・・・

◎道路整備を行う場合

▼住民の合意形成を促進するため、権利関係の調整のための、弁護士・税理士など、専門家の派遣費用助成

◎老朽家屋を建て替える場合

▼除去費や建設設計費の助成。固定資産税や都市計画税の5年間減免

北新宿地区

平成26年度耐震化支援事業モデル地区事業に指定。戸別訪問による耐震化の普及啓発活動を実施予定！



防災対策も着実に前進

1

地域の実情に応じた発災対応型訓練を各地区、順次実施（消防署や消防団等との連携で初期消火訓練の実施など）



2

避難所における、男女別トイレなど、安心して使用できるトイレのルールづくりを推進



3

四谷第六小での「女性の視点を取り入れた避難所運営管理」を参考に、各地域で、女性参加のワークショップの開催



発災対応型防災訓練とは、臨場感のある震災直後の状況を作り出して、事前に訓練時間や訓練内容を知らせずに訓練を実施し、疑似体験をする防災訓練

学校生活及び学校施設の安全対策の確認をしました！

新年度に相次いだ事故をうけて

「学校給食アレルギー対策委員会」「地域スポーツ・文化事業事故対策委員会」の検討結果を踏まえ、再発防止に取り組みます。

愛日小学校建替えに伴う仮校舎の設置について

「旧市ヶ谷商業高校」を借用できるよう、東京都と交渉中。借用時期など、具体的内容が決まり次第、仮校舎の変更及び変更に伴う予算措置を実施します。



補助犬の理解と普及啓発を推進

平成14年に身体障害者補助犬法が成立してから、11年が経過。

新宿区では障害者福祉課で、補助犬の給付相談や申請受付を行っています。

更に区議会公明党の提案により、区としても補助犬の積極的な周知を行い、小中学校等での障がい理解教室の取り組みを支援していくことになりました。

*補助犬とは…盲導犬、介助犬、聴導犬の総称です。



若者のつどい

今年は11月9日に開催決定！

区議会公明党の提案で始まった30代を中心とした若者を支援するイベント「若者のつどい」も今年で3回目となりました。

今回は11月9日に開催することが決定。更に魅力あるイベントにするため、若者グループが演奏や演技といった日頃の練習の成果を発表できる場を提供したり、イベントのサブタイトルを検討するなど、内容を再構築することになりました。



昨年の「若者のつどい」の様様

待機児童解消のための緊急対策の進捗状況

①私立認可保育所が1所決定！

市谷船河原町1番地 三幸学園(学校法人)

平成26年4月1日開設予定

定員:約120名(1歳児から5歳児)

延長保育(2時間)・一時保育(空き利用型)・障害時保育

*その他、2所の事業所も審査中

②保育ルーム(仮称)落合第二園も10月オープン

休園中の落合第二幼稚園舎内

定員:約20名(1・2歳児)

③東京スマート保育(小規模保育整備促進支援事業)

3所開設予定のうち、1所決定!

障がい者優先調達推進法

4月からスタートしました！

障がい者の就労機会を増加させ、自立を促進するため

新宿区の取り組みとして

障がい者就労施設等からの物品等の調達のための、「横断的なメンバー」で構成する連絡会を設置。関係部局が一体となって、受注機会の拡大を効果的に推進します！



いげた栄一



北島としあき



豊島あつし



野もとあきとし



中村しんいち



有馬としろう



赤羽つや子



鈴木ゆきえ



小松政子

新宿区議会公明党はこれからも皆様のご要望の実現に向け、真剣に取り組んでまいります。

新宿区議会公明党 Tel.03-5273-3552 メールアドレス s-koumei@shinjukukomei.com